



## 協会からのお知らせ

### 胸部X線デジタル検診車を整備しました

(一財)労働衛生協会 健診事業部 放射線グループ 作田 秀樹

この度、公益財団法人JKA様より補助を受け、新たに胸部X線デジタル検診車を整備いたしました。この検診車の特徴として、車体を小型化し、狭いスペースで使用することの多い都内でも巡回しやすいよう対応しています。また、働く人の国際化に併せて中国語やポルトガル語を含む5ヶ国語に対応可能なオートボイス機能を搭載しました。検査を進めるにあたり、今後はより一層円滑な実施が期待できます。

事業名	平成26年度検診車の整備
事業内容	胸部X線撮影装置(デジタル)搭載検診車
補助金額	10,500,000円
実施場所	〒168-0072 東京都杉並区高井戸東 2-3-14 一般財団法人 労働衛生協会
完了年月日	平成26年11月21日

当協会は公益社団法人全国労働衛生団体連合会による「胸部エックス線検査分野」精度管理調査に毎年参加しており、「評価A」(評価区分は上位からA・B・C・D)を取得しています。高い精度で健診サービスを提供していますので、ぜひ安心してご利用ください。



### 質の高い「腹部超音波検査」を提供しています

(一財)労働衛生協会 健診事業部 生理機能グループ 村野 光

腹部超音波検査は、人の耳には聞こえない高い周波数の音波を体の表面から当て、体内の組織にぶつかってはね返ってくるエコー(反射波)を画像に映し出し、腹部臓器の様子を観察する検査です。

おなかにゼリーを塗り装置をあて検査をしますが、痛みはほとんどなく放射線被ばくの問題もないため、繰り返し行うことができます。検査前は水(湯)以外の飲食を抜いていただきますが、特別な前処置がなく短時間で多くのことを知ることができるので、健診においては有効な検査の一つです。健診での主な検査対象臓器は、肝臓・胆のう・腎臓・脾臓・膵臓などで、各臓器の形の変化や大きさ、腫瘍(良性・がんなど)、結石(胆石・腎結石など)、脂肪肝などがわかります。

当協会では、検査精度の維持・向上のために公益社団法人全国労働衛生団体連合会による「腹部超音波検査分野」精度管理調査に参加し、平成26年度は「評価A」(評価区分は上位からA・B・C・D)を取得しています。日々、より高い検査精度とより質の高い健診サービスの提供に取り組んでいます。

